



人間系コロキウム

第 57 回

2019年

11月13日(水)

12:15~13:15

文科系修士棟
8B210

学群生、大学院の学生
および一般の方の参加も
歓迎します

お問い合わせ

人間エリア支援室研究支援係

✉ ningen-kenkyu@un.tsukuba.ac.jp

筑波大学 人間系コロキウム

性的依存症のアセスメントと治療
:「痴漢外来」の実践を通して

講師:筑波大学人間系心理学域

原田隆之教授

痴漢や盗撮などの性犯罪は、社会的には大きな問題にもかかわらず、抜本的な対策がほとんどなされていない。これらはまた、パラフィリア障害という「病気」としての側面も有している。本年のWHO総会でICD-11が承認されたが、そこには新たに「強迫的性行動症」という障害が収載された。これは、性行動に対する統制が取れないことから、日常生活に支障をきたすようになった状態をいう。これらの性的問題行動は、性行動に対する反復性、強迫性、コントロール障害という点で共通しており、「性的依存症」としてまとめることもできる。

犯罪であれば、処罰の対象となることは当然であるが、処罰のみでは再犯を防止できないことを多くのエビデンスが示している。したがって、処罰と合わせて治療を実施することが重要になる。本コロキウムでは、「性的依存症」に対する治療実践とその効果等について報告する。

Education
Psychology
Disability Sciences